

工事中のはなし

軟弱地盤について

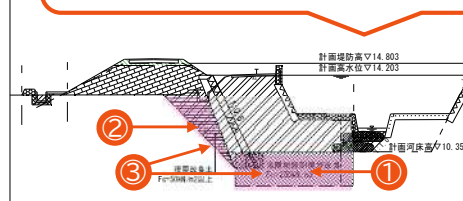
本事業の築堤・護岸工においては、施工中に掘削面の崩壊が発生しました。また地盤が緩く、建設機械の走行が困難な状態となり、工事の施工が一時不能にもなりました。このため軟弱地盤対策を再検討し、対策・工夫を行いました。

■ 施工状況



施工

- ①浅層地盤改良を実施
- ②改良土による埋め戻し
- ③掘削勾配の見直し・二次製品を使用



河川管理カメラ

河川調節池の状況をリアルタイムで確認するため、河川管理カメラを設置しています。

河川地点



調節池地点



知っておこう！

防災情報

福岡県防災アプリ

https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app_mamorukun/



福岡県総合防災情報

http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis_top/



福岡県HP

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/>



庄司川浸水対策重点地域緊急事業

福岡県飯塚県土整備事務所



事業概要

平成30年7月の豪雨により、福岡県飯塚市を流れる一級河川遠賀川水系庄司川は甚大な浸水被害を受けました。庄司川浸水対策重点地域緊急事業は、再度災害防止対策として国・県・市が連携し策定された「庄司川総合内水対策計画」に基づき、福岡県が実施した事業です。

事業の概要

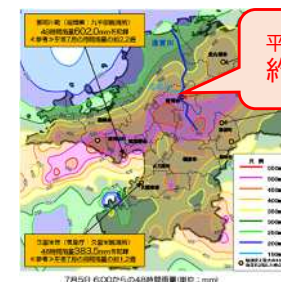
事業名	庄司川浸水対策重点地域緊急事業
事業延長	1,910m
事業費	約49億円
事業期間	令和2～6年度

行政ごとの対策事業



豪雨・被害の概要

平成30年7月、一級河川遠賀川水系庄司川では飯塚観測所において48時間雨量456.5mmという長時間におよぶ大雨を記録しました。この豪雨による被害は床上浸水152戸・床下浸水265戸と甚大なものでした。



平年7月の月間雨量の約1.4倍

浸水時の被害状況

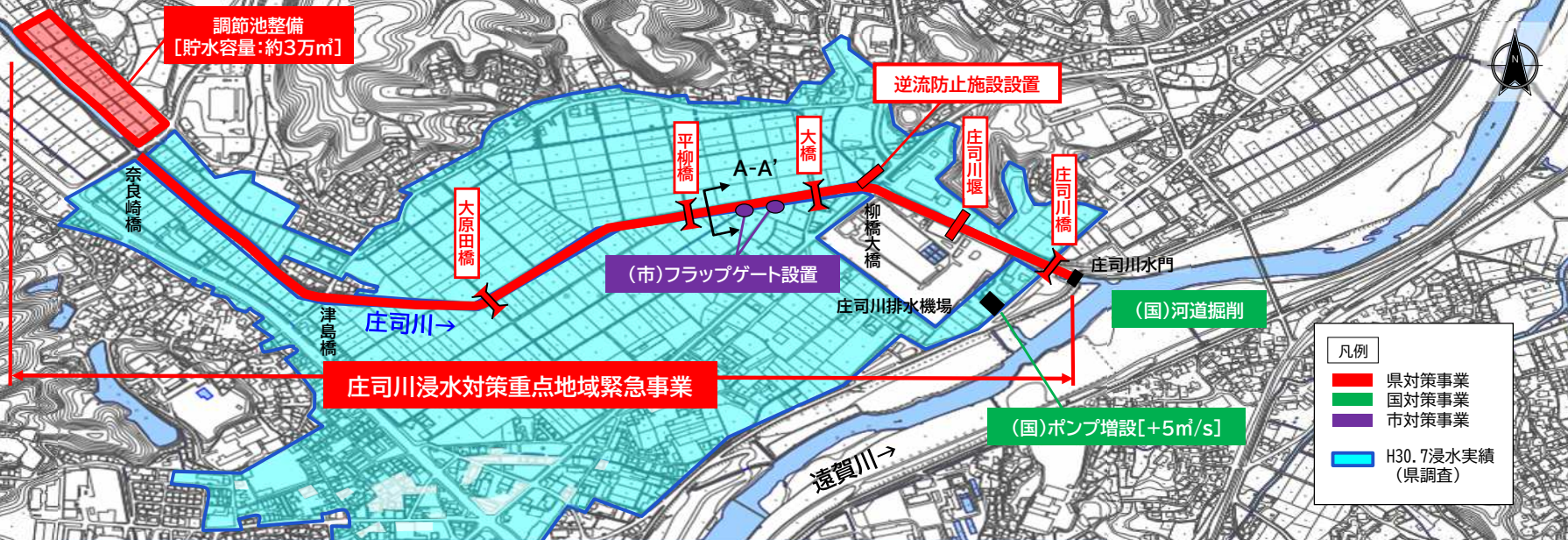


↑ 柳橋地区の浸水状況

浸水戸数(戸)

床上	152
床下	265
計	417

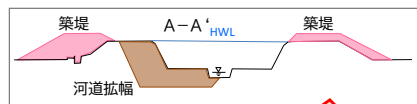
庄司川事業位置図



整備内容

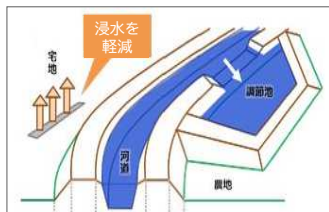
本事業では概ね5年間で河道改修・調節池の整備等を実施しました。河道改修では片岸を拡幅し護岸整備、築堤盛土を行ったことで流下能力の向上を図りました。また、調節池の整備により河川の最大流量を下げることで浸水被害を軽減するなど、地域の安全性の向上を図ります。

流下力の向上



50 m³/s → 95 m³/s
(改修前) (改修後)

水門閉門後の治水能力向上



庄司川調節池	
調節池面積	20,000㎡
調節池容量	30,000㎡
越流堤の高さ	TP+17.090m

整備効果

河道改修、築堤、橋梁架替、調節池等の整備を行ったことにより、平成30年7月の豪雨に対して床上浸水は152戸から9戸、床下浸水は265戸から66戸へと被害を大幅に軽減します。

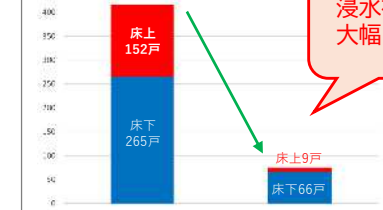
河道拡幅状況



整備前

整備後

浸水戸数(戸)



浸水被害を大幅に軽減

整備前

整備後